

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757 1955

kouhei@oh.kouhei.org

「結果」と「原因」

皆さん、こんにちわ。もうすぐ八月ですね。暑さや日差しにはくれぐれもお気をつけください。

ロンドンでテロ事件が起きました。犠牲になられた方々、家族の皆様、イギリス国民の皆様は心から哀悼の意を表します。テロは断じて許されないことです。しかし、現象面から言えば、テロは「結果」であり、その「原因」が解決されない限り、残念ながら完全になくなることはないでしょう。

テロリストの掃討は、言わば対症療法です。根治治療ではありません。もちろん、どんな「原因」があってもテロが正当化されるものではないと思います。しかし、テロという人類の苦しみを解決するためには、その「原因」を取り除く努力が必要です。容易なことではありません。ブレア首相やブッシュ大統領は、この

点をどのように考えているのでしょうか。

テロリストは自分たちの行為をテロではなく正当な戦争と認識していることと思えます。この認識ギャップもテロが続く「原因」のひとつです。そして、その背後には、認識ギャップを生んでいるさらなる「原因」があるのでしょうか。深い洞察なくして、これらの「原因」を理解することはできません。小泉さん、難しいことですね。

イラクへの自衛隊派遣の現在の期限は今年の年末です。年末までにイラクに民主的な政府をつくることになっていきます。今の暫定政府も選挙の結果できた政府です。自衛隊はそろそろひと区切りつけて帰ってきてはどうでしょうか。長く滞在すれば新たな「原因」を作りかねません。日本国民の生命と財産の安全を守ることに使命の自衛隊の活動が、かえって日本国民の危険を高めるようでは本末転倒です。

まもなく八月十五日。戦後六十回目の終戦記念日を前に、「戦争」と「平和」の意味を改めてよく考えてみたいと思います。ブレア首相、ブッシュ大統領、小泉首相、そしてテロリストにも、よく考えて頂くことを願っています。



覚王山ソングブック

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL: 782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——
〈今回は、「アリス」さんです〉

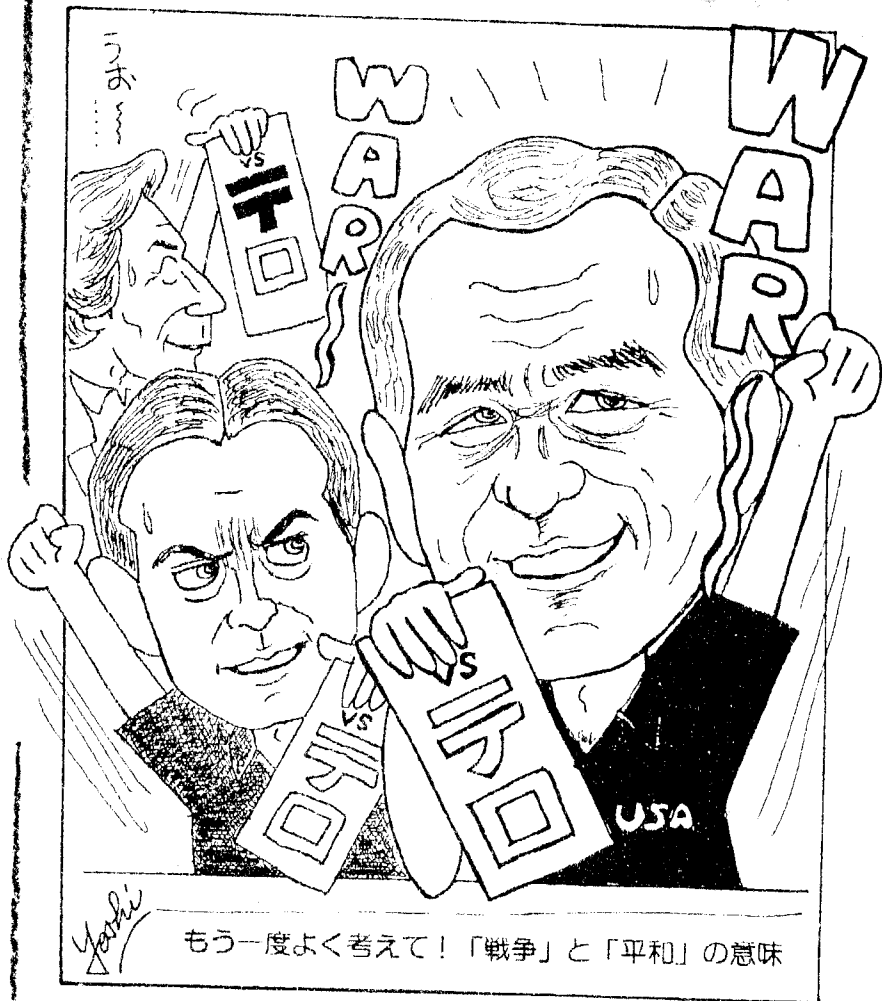
広小路通南側、覚王山バス停近くに建つ覚王山プラザビル、アリスさんはその1階右奥にあります。

昭和57年に子供服を扱うお店からスタートしたアリスさん、その後時代の移り変わりもあり、現在では婦人服を扱って10年以上になります。大澤さん、平林さんのご姉妹が経営するアリスさんですが、その一番の特徴は、「お値打ちかつ質の良い品揃え」とのことでした。

お客様の多くは50代の主婦の方ですが、開店以来20年以上お付き合いのある80代のお客様や、常連のお客様のお嬢様世代も来店されるとのこと、アリスさんの品揃えの確かさがよく分かります。

「うちは庶民的なお店、お話をしに来店されるお客様も多いですよ」と大澤さん。皆様も、覚王山バス停付近を歩かれる際には、お気軽に立ち寄ってみてください。

アリス：052-763-6036



もう一度よく考えて! 「戦争」と「平和」の意味